

② 小松菜, ハーブ

【主な仕事内容】 ○播種 ○育苗 ○定植
○栽培管理 ○収穫 ○出荷調整

(株) EN WATER FARMS

住所：鹿児島市川田町2023-1

URL: <https://www.enwaterfarms.com>

農業経営体の概要

(こだわり・理念) 農業と福祉をドッキングした自信を育てる農業

農福連携のパイオニアとして、農産物を水耕栽培で作り、また、加工するメーカーとして安心安全と共生協働をモットーにしています。

- 経営面積 (栽培品目・作付面積)
20a (小松菜, ハーブ, ミツバ, メロンなど)
- 職員
常時雇用者 7 名
就労継続支援 B 型利用者 (知的障害者・発達障害者, 身体障害者) 22 名
- 施設・機械
4 連棟ハウス, 冷蔵庫, 水耕栽培システムなど
- 販売先
卸売市場, 卸・小売業者, 飲食店, 自社直売所



農福連携を始めたきっかけ

13 年前に新規就農。当初から農福連携の構想を持っており、研修を通じて実務を学び、農福連携を経営の軸として、水耕栽培を選択。腰高での作業ができる環境を整えるとともに、周年での栽培を可能とした。就農 3 年後には就労継続支援 B 型事業所を設立し、現在、コンビニチェーンや飲食店、焼酎会社等に販路を拡大している。スムージーや餃子の販売など 6 次産業化にも取り組む。

障害のある人が担う主な仕事内容

- 栽培管理：播種，定植，収穫等
- 出荷調整：計量，袋詰め，箱詰め
ダンボールの運搬
- 清掃



農福連携に取り組んで良かったこと

- 農業は、施設整備などの負担が大きく、収益性の高い体系を構築する上で課題が多い。しかし、利用者の特性を配慮した作業環境を整えることが可能である。
- 高齢化が進む中で、農業の人手不足という課題に対し、農福連携は大きな助けとなっていると感じる。



【障害のある人が作業する際のポイント】

ハーブの播種，定植，出荷調整



(作業内容：播種，移植・定植，計量，袋詰め)

1 播種



等間隔に穴が空けられたスポンジを用い，一つ一つ手で種子を穴に落としていく作業

【ポイント】

作業台で座って作業ができる。白いスポンジを使用しており，種子が見分けやすい。

2 移植・定植



発芽後，スポンジを切り離し，セルトレイに移植する。成長した苗を定植する。

【ポイント】

立位で作業ができる。トレイへの土壌充填等の必要がなく，作業効率が高い。ベンチへの定植も穴があいているため作業しやすい。

3 計量



各品目の商品袋に合う大きさのプラスチックシートの上に収穫物を乗せ，重量を量る。

【ポイント】

重さが一目で分かるようデジタルのはかりを使用。作業がしやすいよう，作業者の身長等によってはかりを置く台は高さの異なるものを準備

4 袋詰め



長さが長いものは下を切り，重さを計る。プラスチックシートに包んで袋に入れる。袋の口を接着する。

【ポイント】

シートに折り目をつけ，袋に入れやすくしている。品目によって袋の大きさ，重量が異なるため，シートもそれぞれに合わせたものとなっている。

【その他にこんな工夫もしています】

- ・ 障害者の方々が作業の場所・位置等を認識しやすくするため，作業テーブルや水耕栽培の各ベンチ等全てに番号を大きく表示し，見える化を実践。
- ・ 段差のない環境づくりや，整理整頓・清掃の徹底など，作業のしやすい環境づくりに取り組んでいる。
- ・ 右利き，左利きなどの特性に合わせた道具を準備するなど使いやすい工夫を行っている。

